

1. 第15回フォーラムの開催 (2014. 3. 8)

第15回山のトイレフォーラムが道立道民活動センター（かでの2・7）で開催、50名の参加者を迎えて行われました。テーマは「みんなで取り組む山のトイレ問題」です。

今回は基調講演をしないで、山のトイレ問題に積極的に取り組んでいる下記の方から報告をいただき、問題解決に向けディスカッションしました。

（報告1）空沼岳万計山荘友の会の20年

長水 洋氏（万計山荘友の会会長）

（報告2）利尻山 八森大介氏（利尻富士町）

（報告3）アポイ岳 佐々木泰氏（アポイ岳マツクラブ）

（報告4）黒岳トイレ 端場強実氏（上川総合振興局）

（報告5）大雪山国立公園の山岳トイレ管理レベルを考える 野川裕史氏（環境省上川自然保護官事務所）
議事内容、資料集はホームページに掲載されています。



参加者50名。熱心な意見交換が行われた

2. 羊蹄山避難小屋トイレ調査 (2014. 8. 2~3)

羊蹄山避難小屋は今シーズンから新しい避難小屋が使用開始されました。トイレは北海道の山岳トイレで初めて導入された土壌処理方式です。

そのトイレを実際に見て、登山者や管理人さんにヒヤリング、課題を把握する為に会員5名で現地調査に行きました。トイレは2室あり、使用した紙は全て持ち帰るルールになっていました。登山者には管理人さんから説明、持ち帰りを徹底しているとのことでした。

調査結果の主な課題は下記のとおりです。関係機関

に通知して、改善を図るよう要請します。

- ①土壌処理方式の性能検査の実施。データ公表
- ②2室同じ便器のトイレだが、男女別になっている。男女別にしない方が混雑緩和になる
- ③便器の蓋をしないと臭いが部屋に流入する
- ④窓に網戸が無いので虻が入る



羊蹄山避難小屋・土壌処理トイレの調査

3. 各種山岳団体学習会に講師派遣

山岳団体から講演依頼があり、当会の事務局委員が対応しました。登山者の生の意見を聴く機会でもあり、今後も積極的に要望に答えていきます。

- ①ユウパリコザクラの会登山研修会 仲俣善雄
- ②北海道登山研究集会 自然保護分科会 小枝正人
- ③北海道高山植物保護ネット・市民フォーラム 愛甲哲也
- ④小樽労山自然保護学習会 小枝正人

開催日：①6.14 ②11.9 ③11.29 ④11.30



北海道登山研究集会で小枝副代表が講演

4. 山のトイレデーの実施 (2014. 9. 7)

北海道の40箇所の登山口で新しいトイレマップやマナーガイド、マナー袋等を配布、トイレ紙やゴミを拾う清掃登山を行いました。今回で14回目です。

参加者は124名と過去最も多くの方が活動に協力してくれました。トイレマップ1,019部、マナーガイド1,025部、マナーカード130枚、マナー袋2,462部を配布することができました。

今回は、特にトイレ紙の持ち帰りを登山者に呼びかけ、配布しました。初めて活動に参加する人も多く、皆さん一人での活動に不安を感じながらも、実施後はやってよかったとの報告が多数ありました。参加された皆さまお疲れ様でした。



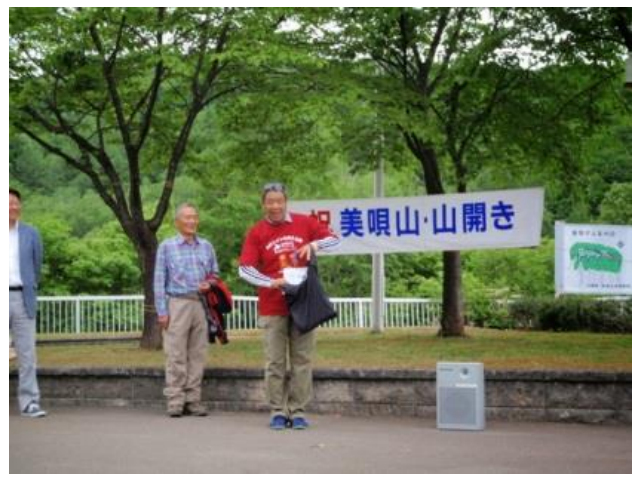
徳舜警山でのトイレデー

5. 山開きでマナー袋等を配布 (十勝岳：2014. 6. 16 大雪山：6. 30) (美唄山：6. 8 斜里岳：7. 6)

十勝岳の山開きは4コース、大雪山山開きは3コースで実施されました。主催者に大雪山はマナー袋とマナーガイドを170部、十勝岳はマナー袋を100部送付し、参加者に配布していただきました。主催者側からは、前日の宿泊所で山のトイレマナーについて説明、情報提供をしていただきました。

また、今年初めて美唄山と斜里岳の山開きにも啓発ツールを送付しました。美唄山ではマナー袋とマナーカード60部、斜里岳ではマナーガイド、トイレマップを60部、登山者に配布していただきました。

来年度もできるだけ多くの山開きで啓発ツールを配布するため、主催者をお願いしようと思います。



美唄山山開きでマナー袋について説明

6. 幌尻山荘排泄物担ぎ下ろしに幕 (2014. 9. 13~15)

日高山脈ファンクラブ（樋口和生会長）主催で全てボランティアで実施してきた幌尻山荘排泄物担ぎ下ろしは、事業の固定化を避けるため、今年の10年目をもって終了することになりました。

今回は、総勢27名で排泄物を210kg担ぎ下し、便槽は全て空になりました。

ファンクラブの高橋事務局長は「し尿を運びたくないという気持ちではないが、行政主導で環境を守って欲しい」と話し、幌尻山荘の管理者である平取町に対応していただきたいとのことでした。

日高山脈は国定公園です。町だけに負担を押し付けず、道や林野庁がリーダーシップをとるべきではないかと思います。



排泄物を担ぎ額平川を渡渉する

連絡先

060-8589 札幌市北区北9条西9丁目 北海道大学大学院農学研究院内

山のトイレを考える会 事務局 (担当：愛甲哲也)

電話&FAX：011-706-2452 電子メール：hokkaido@yamatoilet.jp

<http://www.yamatoilet.jp>

(ニュースレター編集)
仲俣善雄